



1



2



3



4



5



6



7

第22回 多古町 ウォークラリー大会

今年の舞台は中村小学校区。雪景色となった1月18日、子どもの部11チーム、ファミリーの部16チームの総勢149人が参加しました。コマ図を見ながら歩いた約10kmの道のり。神社などチェックポイントを回りながら進む姿を追いました。

- ①ゴール目前！最後まで元気いっぱい
- ②雪降る中のスタート
- ③勝利の笑顔 子どもの部優勝『Happy5』
- ④ファミリーの部優勝『レインボーガールズ』
- ⑤問題は解けた？みんなで相談中
- ⑥冒険心をくすぐる登り道発見。
- ⑦コマ図をみて、後半戦さあ出発！
- ⑧神社の境内の中をよく観察
- ⑨チェックポイントに到着。通過スタンプを押して
- ⑩残った賞品争奪ジャンケン大会
- ⑪あつあつのミネストローネで一休み



8



9



10



11

編集後記

★関東などで記録的な大雪に見舞われた2月。各地では高速道路や電車が止まりましたが、多古町は比較的海に近いので、少しの積雪だけで済み、特段の被害もありませんでした。この日、自分は取材の関係で小見川に足を運びましたが、雪の「ゆ」の字さえ無い状況に、「同じ県内でもこうもちがうものか」と驚きました★小さい頃は、雪が降ると童謡にもあるように何だかワクワクして心が弾んだものです。多少の降雪では木々の枝に着いた雪が陽光を浴びて輝くさまに趣を感じますが、大雪ともなると話は別。趣どころではありません。真つ先に仕事や生活への影響を考えると、何事も過ぎたるは「で」でしょうか。

★中央保育所で成木だんごを作ると聞き、小さい頃家で作ったことあるなあと懐かしく思いながらも、無病息災や五穀豊穡のいわれも知らず、どんなことをしていたのかな？と母に聞いてみました。するとだんごだけではなくナスや豆などに似せて作ったものも木に成らし、根元には恵比寿様や大黒様も作って飾り、良く実が成るようお願いを込めて、木の根元を叩きながら歌うようでした。祖母から聞いた話で詳しくはわからないという話でしたが、親から子へ、子から孫へと伝わっていくものだったのだなと思いました。今はほとんど行われていない成木だんご。文化を大切にしたいと思った今日この頃でした。